

環境省

2020年3月30日

「一般廃棄物の排出及び処理状況等（平成30年度）について」

まとめ：ごみかん運営委員 小野寺 勲

環境省が、2018年度の全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等について調査し、その結果を取りまとめたもの。毎年度実施。リデュースについては、人口10万人未満では長野県の自治体が、人口10万人以上50万人未満では東京・多摩地域の自治体がそれぞれベスト10に8つ入っています。一方、リサイクルについては、人口10万人未満でベスト10に入っている自治体は、ほとんどが生ごみを堆肥化またはバイオガス化しています。

■ ごみ排出の状況

ごみ総排出量

4,272万トン、前年度比0.4%減。
5年前（2013年度）に比べ4.8%減。

※ごみ総排出量＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量

1人1日当たりのごみ排出量

918グラム、前年度比2グラム減。
5年前に比べ40グラム減

■ ごみ処理の状況

総資源化量

853万トン、前年度比1.7%減。5年前に比べ8.0%減。
※総資源化量＝直接資源化量＋中間処理後再生利用量＋集団回収量

リサイクル率

19.9%、前年度比0.3ポイント減。
5年前に比べ0.7ポイント減。
※リサイクル率（%）＝総資源化量÷ごみ総排出量×100

■ 3Rの取り組みベスト10

リデュース（1人1日当たりのごみ排出量）の取り組み上位10位市町村（単位：グラム/人日）

人口10万人未満			人口10万人以上50万人未満			人口50万人以上					
1.	長野県	南牧村	305.7	1.	東京都	小金井市	605.3	1.	東京都	八王子市	764.6
2.	長野県	川上村	308.2	2.	東京都	日野市	639.5	2.	愛媛県	松山市	772.1
3.	徳島県	神山町	315.0	3.	静岡県	掛川市	645.7	3.	神奈川県	川崎市	816.2
4.	長野県	泰阜村	374.3	4.	東京都	立川市	655.9	4.	埼玉県	川口市	827.7
5.	長野県	中川村	386.1	5.	東京都	府中市	660.0	5.	神奈川県	横浜市	831.3
6.	宮崎県	高原町	386.4	6.	東京都	国分寺市	680.0	6.	京都府	京都市	837.7
7.	長野県	豊丘村	411.9	7.	東京都	西東京市	682.5	7.	広島県	広島市	850.3
8.	長野県	喬木村	414.7	8.	東京都	東村山市	683.1	8.	神奈川県	相模原市	865.1
9.	長野県	阿南町	425.5	9.	静岡県	藤枝市	690.1	9.	埼玉県	さいたま市	873.3
10.	長野県	平谷村	425.6	10.	東京都	三鷹市	691.3	10.	千葉県	船橋市	877.5

リサイクル（リサイクル率）の取り組み上位10位市町村（単位：%）

人口10万人未満			人口10万人以上50万人未満			人口50万人以上					
1.	北海道	豊浦町	84.8	1.	神奈川県	鎌倉市	52.0	1.	千葉県	千葉市	33.4
2.	鹿児島県	大崎町	83.1	2.	東京都	小金井市	51.3	2.	新潟県	新潟市	26.3
3.	徳島県	上勝町	80.7	3.	岡山県	倉敷市	44.0	3.	東京都	八王子市	26.1
4.	鹿児島県	志布志市	72.7	4.	埼玉県	加須市	38.4	4.	福岡県	北九州市	25.9
5.	北海道	小平町	71.4	5.	東京都	国分寺市	37.9	5.	愛知県	名古屋市	24.0
6.	長野県	木島平村	68.9	6.	東京都	東村山市	36.3	6.	神奈川県	横浜市	23.5
7.	福岡県	大木町	65.4	7.	愛知県	小牧市	36.1	7.	岡山県	岡山市	23.3
8.	北海道	喜茂別町	64.7	8.	東京都	調布市	36.0	8.	埼玉県	川口市	22.0
9.	北海道	本別町	60.5	9.	東京都	立川市	35.0	9.	北海道	札幌市	21.8
10.	北海道	羅臼町	60.2	10.	東京都	西東京市	33.8	10.	埼玉県	さいたま市	20.9

※中間処理後再生利用量から固形燃料（RDF、RPF）、焼却灰・飛灰のセメント原料化、セメント等への直接投入、飛灰の山元還元された量を差し引き、リサイクル率を算出。